

## 6/30 進路説明会あいさつ (おもな内容)

- おいそがしい中、そしてまん延防止措置が出ている中のご出席、ありがとうございます。
- 先日は、全国学力・学習状況調査の保護者アンケート調査へのご協力ありがとうございました。  
(7割以上のお家の方がたにご協力いただきました。)
- 子どもたちは、コロナ禍の中、最上級生としての自覚も持ちながら、工夫しながら元気に過ごしています。3年生の子どもたちにとっての中学校生活は、残念ながら今の状態が、日常になりつつあります。本当に辛抱強い子どもたちです。この期間の辛抱をバネにして、大きく羽ばたいて欲しいと願っています。(冊子の冒頭に書かせていただいたように) これからの人生においては、大きな夢を持って進んでいってほしいと願っています。
- 子どもたちは、多かれ少なかれ夢を持っていると思いますが、中学生ぐらいになると、現実を知って「〇〇になりたいけど、自分には難しい…」みたいなことを思ってしまうがちです。「それは『なれま線』という一本の線を、自分で勝手に引いて、限界を決めてあきらめてしまっているだけ。そんな線は打ち破れるし、どこまでも頑張れる。あきらめたらおしまいだ。なんでもいいから本気で打ち込めるものを」
- 私事ではありますが、先日、最終回を迎えた「ドラゴン桜2」というTVドラマを真剣に見ていました。昔から学園ドラマが好きで、涙を流しながら見ていました。勉強に対して、そして学校生活に意欲を持たない、いろいろなことをあきらめていた生徒を、いかにその気にさせることができるか、など参考になるなあと思いながら・・・  
自分自身は、「3年B組金八先生」を見て、この職業の魅力を感じていました。その後、たくさん回り道をしましたが、今、この場に立つことができます。  
きっかけは、何でも良いです。実は、どこにでも転がっています。  
あきらめなければ、夢は叶うことが多いと思っています。
- 義務教育最後の1年です。次の4月には、自分で選んだ道を進むことになります。  
今日の進路説明会をスタートにして、今後、お家の方がたにご協力いただくこともたくさんあります。書類提出や進路懇談会がそれにあたります。この後、進路指導主事から説明をしますので、1年の流れをしっかりとイメージしていただけると幸いです。
- お家の方やわれわれ教員が、子どもたちにできることは「子どもを信じること」だと思います。また、お家の方しかできないこともあります。ドラゴン桜2でも、「東大合格家庭の十か条」というものが出てきました。  
家を「心休まる場」にして無理をさせず、受験を日常の延長線上に捉えてもらうようにすることです。受験生がのびのびと受験できるようにできるのは、お家の方しかいません。